

家庭学習のすすめ～城西小学校～

☆まず続けることが大切です。学年の目安の時間を目標に、机に向かう習慣をつけましょう。

こんなものを

家庭学習の継続によって、「基礎学力」を確かなものにすることができ、「自ら学ぶ習慣」をつけることができます。



1. 学習時間

「10分+10分×学年」を目安に、家庭学習が行えるようになって欲しいと思います。机に向かう習慣をつけることが大切です。家庭学習に1年生から取り組み、学年が上がるにつれて徐々に時間を増やしていきましょう。(宿題をする時間も、以下の時間に含めます。)

☆ 1年生	(20分以上)	☆ 4年生	(50分以上)
☆ 2年生	(30分以上)	☆ 5年生	(60分以上)
☆ 3年生	(40分以上)	☆ 6年生	(70分以上)

※ 中学1年生では、2時間以上必要だといわれています。

家庭学習は時間の多少にかかわらず、毎日続けることに意味があります。お子さんの「やる気」「自主的な取り組み」を認めて、励ましていただければと思います。上記の時間は、あくまで目安ですので、お子さんにあった時間を話し合ってください。

2. 学習の開始・終了時刻の決定

毎日同じ時間帯に学習することで、生活のリズムを身につけるようにします。曜日ごとに決まっている塾や習い事がありましたら、その時間帯を考慮し親子で学習計画を立ててみてはいかがでしょうか。

3. 学習内容



まず最初に学校の宿題をしましょう。次に、「自学」に取り組みましょう。基礎学力の定着のために、各学年で例を示しています。それを参考にして学習内容を考え、学習の計画を立てるようにしましょう。

☆ 毎日取り組むとよい学習。

「音読」「漢字練習」「計算」など続けることにより高い効果を生む内容です。宿題として出されています。

☆ 時間のあるときにやるとよい学習。

「読書」「問題集・ドリル」「予習や復習」など自分の好みに合わせて取り組むとよい内容です。

☆学習環境づくりは家庭と学校で☆

*** 生活時間の見直しと環境の整え方 ***

一日の生活リズムについて、家庭で話し合しましょう。

- ① 「学校から帰宅する時刻」または、「スポーツ少年団や習い事から帰宅する時刻」から「就寝時刻」までの、家庭における生活時間帯がどれくらいあるか曜日ごとに洗い出します。
- ② 毎日の生活時間の中に食事や入浴などの時間を設定します。
- ③ どうしても見たいテレビ番組については親子で話し合い、生活時間帯の計画に入れます。
- ④ 残りの時間帯の中から、学習時間帯を決めます。(※読書の時間も入れるとよいですね)
- ⑤ 余った時間は子どもの好きなことに、自由に使える時間として保証しましょう。

学校での取り組み

学校では家庭学習について、各学年で統一した考えの基で指導を行います。家庭学習の様子は学級や授業等で情報を交換しながら家庭と連携を深め、柔軟に対応していくようにします。

☆見届けのポイント☆

- ・よくできているところや努力したところをほめます。
- ・子どもの取り組みの良いところを紹介します。

※計算の自学をした場合は、解答のあるものはマルつけをしてから提出してください。



家庭での取り組み

1. 学習への意欲を持たせるためには

- ① 学習を始める時間がきたらテレビのスイッチを切ります。
- ② まず宿題に取り組みせ、次にすぐに取りかかれるやさしい学習（本読みなど）から始めます。
※低学年では、親がそばにすることが大切です。夕食のしたくの時などに近くのテーブルなどでやるのも一つの方法です。やったという事実をほめるようにしてください。
- ③ 途中でつまづいたり、分からない問題は後回しにし、翌日担任に見てもらおうようにしてください。(赤で「分からないので教えてください。」と書いてはどうでしょう。)

2. 学習に集中させるには

- ① 食べながら、飲みながらは避け、しゃべらないで学習する約束をしましょう。
- ② あらかじめ「終わり」の時刻を知らせ、守らせるようにしましょう。